

発表の流れ

- ① はじめに
 - 学校紹介
 - 進路状況（H28 年度）
 - 進路状況の推移（H22～H28）
 - 学年を立ち上げる前に
- ② 2016 年度入学生 of 取組
 - 問題の解決に向けて
 - 朝学習の取組
 - クラス替えの考え方
 - 夢の実現に向けた進路指導
- ③ 課題の把握と解決に向けて
 - 課題の把握
 - 課題の解決に向けて

◀ ◻ ▶ ◀ ◻ ▶ ◀ ≡ ▶ ◀ ≡ ▶ ≡ 🔍 ↺

系列：専門教育（農業・福祉・家庭）

- いのちと緑を育む系列
- 食を科学する系列
- 食と経済を考える系列
- 花と緑で環境を創る系列
- 福祉と人間を学ぶ系列
 - 介護福祉コース
 - その他コース
- 生活と文化を築く系列

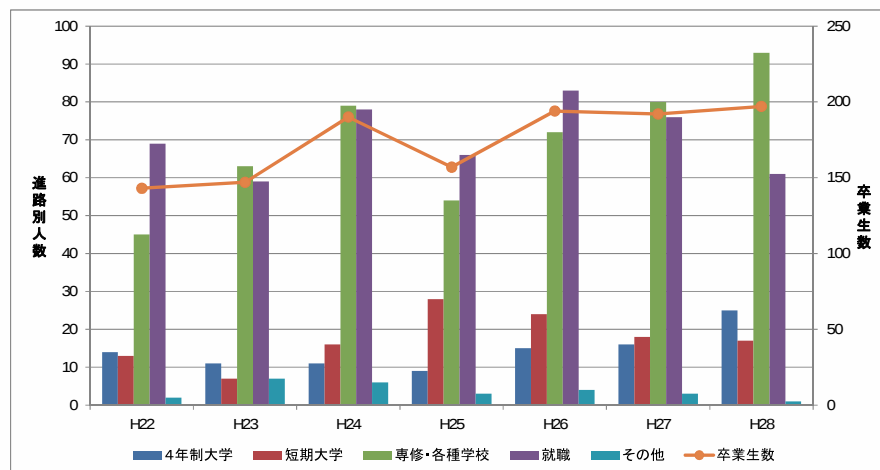
◀ ◻ ▶ ◀ ◻ ▶ ◀ ≡ ▶ ◀ ≡ ▶ ≡ 🔍 ↺

進路状況（H28年度）

Table: 進路状況（H28 年度）

進路先	人数	割合 (%)
4 年制大学	25	12.7%
短期大学	17	8.6%
専修・各種学校	93	47.2%
就職	61	31.0%
その他	1	0.5%
2 8 年度卒業生	197	100.0%

進路状況の推移 (H22～H28)



学年を立ち上げる前に

- 平成 24 年度に興陽高校着任
- 平成 28 年度まで 4 年間教務主任
- 系列改編や学校設定教科を提案（却下）
- 学校評価の指標について
- 目標に準拠した評価

学年を立ち上げる前に

学校設定教科「探求基礎」について

学校設定教科「探求基礎」は、探求系列の教科で、少人数で行われる「演習」です。
この教科は、「知の技法」を、実践的に学ぶことを主眼に開設します。問題の立て方、認識の方法、論文の書き方、発表の仕方などの行為を構成しているさまざまな手順や方法は、共有されている技術や作法について学習する教科です。

探求基礎Ⅰ……1 年次（1 単位）

- 「総合的な学習の時間」の後期科目として、系列選択後の後期から実施
- 課題を設定し、その解決に向けて、疑問点の調べ方やまとめるために工夫すべきことを身に付ける
 - 自分が進む分野に関する内容を調べ、どのような職業人になるかを考える、まとめ、発表する。

探求基礎Ⅱ……2 年次（2 単位）

- 「総合的な学習の時間」（2 単位）と連携し、進学先の分野について学ぶ。
- 自分が進む分野における興味関心のある内容を調べあげて、まとめ、発表する。

探求基礎Ⅲ……3 年次（2 単位）

- 「課題研究」（2 or 4 単位）と連携し、進学先の分野について深める。
- 自分が進学する分野に関して、在学中に調べたことについて取捨選択し、ポートフォリオや卒業論文としてまとめる。

学年主任として

- 基礎学力向上をベースにした学年経営
- 態度形成を重視（主体的に動けるか）
- 基本的な生活習慣の確立
- 生徒に向けたメッセージ
 - 充実した高校生活 ... 「創造価値・体験価値・態度価値¹」
 - 「勉強はいつでもできるが、今やっておかないと、将来やろうと思ったときのハードルが高くなる」
 - 「勉強は自分のためにする」
 - 「高校を卒業して就職する生徒は 20 % 未満」

¹生きる意味を見つける 3 つの手がかり。V. フランクル

過去の継承と新たな取り組み

- ルールを守る
- 遅刻マラソン
- 朝学習
- クラス替え（毎年行う）
- 200 人のホームルーム
- 組織的でない部分は学年主体で
- 「見守る」を学校文化へ

朝学習の取組

1 平成28年度入学者の朝学習について

1.1 朝学習の目的

朝学習の目的は、以下の3点である。

- 各自が真剣に問題と向き合うことにより、集中力を身に付ける
- 残った問題は宿題となるので、家庭での学習習慣を身に付ける
- 継続して学習することにより、基礎学力の向上を図る

1.2 朝学習の概要

- 朝のSHR前にプリント学習を行う
- 教卓のBOXからプリントを各自受け取り、解答をはじめ
- 朝学習は遅くとも8:40分までに開始する（早めにはじめても良い）
- 朝学習の時間帯は、自力で解答すること

◀ ◻ ▶ ◀ ◻ ▶ ◀ ≡ ▶ ◀ ≡ ▶ ≡ 🔍 ↺

朝学習の取組

- 始業チャイム（8:45）以降も担任から終了の合図があるまで学習を続ける
- 担任からの終了の合図をもって筆記用具を置く
- 担任からの連絡事項に集中して聞く（その間は解答しない）
- SHR終了後、授業の準備にかかる
- 休日用の学習プリントは別に用意する

1.3 朝学習で終わらなかった問題の取扱い

- 問題の量は、朝学習の時間では終わらない（家庭学習を前提としている）
- 残った問題は宿題とし、家庭に持ち帰り解答することを原則とする
- 休み時間や昼休みに解答しても良い
- 授業中に内職してはいけない
- 学校で解答する時に教え合っても良い
- 友達の解答を丸写ししてはいけない
- 自分で学習しないと、自分の実力にならない
- 全ての問題を解答できるように努力する
- 分からない問題は、どこが分からないのかをメモしよう

◀ ◻ ▶ ◀ ◻ ▶ ◀ ≡ ▶ ◀ ≡ ▶ ≡ 🔍 ↺

朝学習の取組（データ分析）

- クラス別基本統計量や箱ひげ図
- クラス別の分散分析
- 教科別ヒストグラム
- 系列別教科別基本統計量
- 系列別基本統計量や箱ひげ図
- 系列別の分散分析

朝学習の取組（連携や表彰）

- 1 年次 ... 「産業社会と人間」との連携
- 2 年次 ... 「総合的な学習の時間」との連携
- 表彰
 - ベスト9（総合得点9位まで）
 - トリプル賞（国語・数学・英語の得点合計のトップ3）
 - 国語賞（国語の最高得点者）
 - 数学賞（数学の最高得点者）
 - 英語賞（英語の最高得点者）
 - 系列賞（系列・コースの最高得点者）
 - 満点賞（社会の問題・常識問題の満点者）

クラス替えの考え方

- 社会性を身に付ける（200 人が 1 クラス）
- 横の連携づくり人間関係を広める
- 縦の系列で学習を深める
- 系列人数を考慮してクラス替え
- クラス間の成績や生徒指導に差をつくらない
- 生徒の変化に対するリスクヘッジ
- 人事異動に対するリスクヘッジ

夢の実現に向けた進路指導

- 1 年前期 ... 体験に基づいた系列選択
- 1 年前期 ... 進路に対応した科目選択
- 1 年 2 学期 ... N I E（Newspaper In Education）
- 1 年 3 学期 ... 進路指導部と連携したガイダンス
（人間関係づくり・進路ガイダンス）
- 2 年 1 学期 ... 進路指導部と連携したガイダンス
（オープンキャンパス指導＋就職者向け）
- 2 年前期 ... 進路に対応した科目選択
- 2 年 1 月 ... 志望理由書の書き方
- 2 年 3 学期 ... 進学者向け進路ガイダンス
＋ハローワークとの連携事業

個に向き合う

- face to face のコミュニケーション
 - 信頼関係の構築
- 基礎学力の向上に向けた客観的な指標
 - 基礎力診断テスト
 - 事前・事後指導を充実させたい
- 進路適性に関する客観的な指標
 - 進路適性診断
 - ICT の活用
 - プラットフォームとしての Classi に期待

カリキュラムマネジメント

- 目に見えるカリキュラムマネジメント
 - 消去法による科目選択
 - 「選びたい科目がない」という声に真摯に対応する必要がある
 - 着実に力をつけるために
 - 「学びの基礎診断」への挑戦
- 目に見えないカリキュラムマネジメント
 - 知的好奇心を刺激する教材を開発
 - 生徒に力を付けさせる学校文化
 - 教師をインスパイヤーする学校文化